

風の輪

風の輪 第14号

社会福祉法人 水仙福祉会

〒533-0004 大阪市東淀川区小松1丁目13-20

☎06-6328-4019 Fax06-6325-9710

題字 岡村 重夫



風の子保育園にて

保育新時代を迎えて

新エンゼルプランの行くえ

風の子保育園 園長 松村 寛

少子化対策から始まった
エンゼルプラン

平成6年(1994)に、国では少子化対策から子育てに対する社会的支援を総合的に計画的に推進するための第一次5カ年計画ともいえる、いわゆるエンゼルプランが策定されました。この内容は、子育てと仕事との両立支援、家庭における子育て支援が主な柱でした。そして具体的施策として、乳児保育の拡大、延長保育や一時保育の推進、放

課後学童クラブ、子育て支援センターの設置などでした。これらの計画がどの程度の

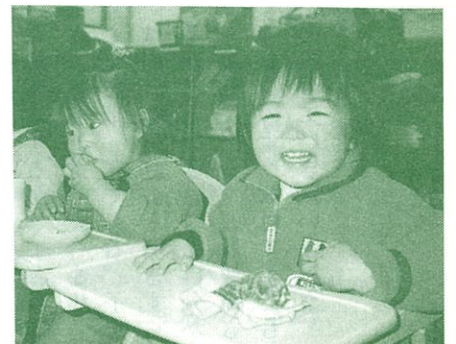
成果を挙げたのか判然としませんが、少子化は依然として進行していますし、また児童虐待も増加しているという現実があります。しかるに少子化現象にもかかわらず長引く不況からであろうか、都市を中心に保育所入所待機児の急増が新たな問題になっています。

平成11年度で終了したエンゼルプランに引き続いて、12年度から新エンゼルプラン「重点的に推進すべき少子化対策の具体的実施計画について」が発表されました。第二次5カ年計画ともいえるものです。

新エンゼルプランの 子育て支援

これには急速な少子化が、労働人口の減少、高齢者比率

の上昇、市場規模の縮小、現役世代の負担の増大、経済成長のマイナス等々が述べられ、いわば如何にして産めよ増やせよの環境づくりをしていくかの苦慮が伺われます。基本的視点として、結婚や出産は、当事者の自由な選択に委ねること、男女が子育ての喜びと働く喜びを同時に得ることができる社会を築いていくために、職場や家庭における性別役割分担意識の解消、男女雇用機会均等の確保、仕事と家庭が両立できる雇用環境の整備、短時間勤務制度の拡充、児童家庭支援センターの整備、児童手当の拡充、病気の回復期の乳幼児の一時預かり事業、認可保育所の設置主体制限の撤廃等々、目新しい項目が沢山提起されています。



風の子ベビーホームにて

多様なニーズに 応える保育所に

いずれにしても保育所は、多様な需要に応えるための様々な保育サービスが期待されています。簡潔にいえば、どのような子どもでも利用できる、何時いかなる時でも利用できる、そうした保育所に変わっていくことが目標になっているといえます。

社会福祉法人でなくても保育所を設置できる時代になり、すでに企業の参入が始まって24時間営業が広がっていく状況が出ていますが、利潤追求の企業保育所と競っていかねばならないこれまでの認可保育所にとって、真剣な模索を迫られていることは確実です。